



アイドルに
なつてきます。

みなみ

J-K-T じえーけーていの寿とします。

(尋 じん 航 こう 寿 とし の頭文字からとった)

HOTARU-GENJI+1 ほたるげんじぷらすわん のヒナは俺の兄なんですが、ダンスも歌もルックスも完璧で背が高く優しくと、まったく俺と正反対の人間で・・・。

友達の優梨 ゆうり に勝手に履歴書を送られ、俺は中学の時Jニーズ じえーにーず に入った。その1年後優梨が兄の履歴書も勝手に送っていて、そのとき高校生だった兄もJニーズに入った。

センターで踊り始めたのも早くJ☆KIDS じえーきっずの憧れの的だった。その2年後HOTARU-GENJI新メンバー募集オーディションで見事にグランプリを勝ち取った。

中学の時俺をかばって、
優梨が事故に遭ってしまったことがある。
優梨が血だらけになって倒れていた。

「亮 りょう ちゃん (ヒナ) 寿が・・・ 寿が死んじゃうよ・・・
寿・・・寿・・・」
優梨は俺が血だらけで倒れていると思ったらしく、
そう叫びながら俺を抱きしめていた。

兄は救急車を呼んだり、優梨の両親に電話をかけたりと、
かなり冷静だった。
まもなく救急車が到着して病院に搬送された。
優梨は緊急手術を受け一命を取り留めた

俺は優梨に話したいことがあったので会いに行った。

「優梨 Jニーズに俺の履歴書送っただろ」

「合格通知きた？」

「きたけどアイドルになんかなる気ないから なんで俺なんだよ
アイドルだったら兄貴がなりたがってるんだから
兄貴の送れば良いだろ」

「Jニーズってね 専属の雑誌が3冊あるんだよ
撮られてみたくない？ 3冊全部の雑誌に」

「3冊全部に載ったら辞めるからな」

「うん 良いよ でもひと月分の雑誌で3冊だからね」

「3冊全部に載ったら絶対辞めるからな」

僕はこうしてJニーズの扉を開いた。

今優梨と一緒にミュージックステージを

「寿 今日 J-K-Tってミュージックステージに出演するんじゃないか？」

「J-K-Tでてるから」

「寿がいなかったらJ-K-Tじゃないから」

「そりゃそうだけど」

「さぼり？」

「ちげーよ 怪我したんだよ だから出演できなかったんだよ」

「どこを？元気そうだけど」

「元気じゃねえ～よ 怪我してんだよ 痛てえ～んだよ」

というような話しをしながら観ている。

番組が終わると

「明日pickup ぴっくあっぷ の撮影あるから寝るわ」

「さぼるなよ」

「だから・・・」

というような話しを優梨として家にもどった。

シャワーを浴びて髪を乾かしながらリビングに行くと、
優梨が朝食を作っていた。

「おはよう」

「あのさ 俺朝食欲ないから食べないんだけど」

「いいから座って」

「うまっ 朝からこんな美味いもん食わすんじゃねえ～よ・・・

体型変わっちまうだろうが・・・」

「文句言うわりには結構食べたね」

「うるせーよ」

というような話をしながら、
食事を終えキッチンに食器を持って行き部屋に戻った。

俺達は優梨の家の隣のアパートに住んでいたのだが、ガキの頃火事で住むところがなくなってしまった。父と母が途方にくれていた時、「うちの両親の家が空いてます 使ってください二世帯住宅ですので それでも良かったらですが・・・」と優梨のお父さんが言ってくれて住むことになったのだ。

その為リビングのドアを開けると、お互いの家に行き来できる為、両親が仕事で帰ってこないときは、優梨が食事を作りにきてくれたりする。

支度を整えリビングに戻ると優梨がテーブルに伏せて寝ていた。起こさないようにそっと玄関に足を運んだのだが、起こしてしまったりしく、「行ってらっしゃい」と優梨が手を振って出迎えてくれた。「ってきます」俺は優梨に手を振りながら家を後にした。

なんとか念願かなって3冊全部の雑誌に載ることができた。

「寿くん アイドル辞めて戻ってこない？」

俺寿くん撮っていると楽しいんだよね」

「これ撮り終わったら辞めるつもりです

俺も蓮さんに写真撮られるの楽しいです

もっと蓮さんに撮ってほしいです 」

て話しを蓮さんとしながらJニーさんに挨拶に行くと、

「この子君のところにあげるの勿体ないね

この子がいないと雑誌の売り上げ下がるね でもあげるね

君アイドルやる気ないね そんな子Jニーズにいらぬね

君明日から来なくて良いからね」

「ありがとうございました」

ドアを開けると尋と航が待っていた。

「尋 航 頑張れよ」

「寿もな」

というような話しをて事務所を去った。

俺はこうしてJニーズを辞め小学校の時からやっていた、

ファッションモデルの仕事に戻ったのだ。

アイドルになってきます。

<http://p.booklog.jp/book/52907>

著者：みなみ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/minamimoriyama/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/52907>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/52907>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ